里地里山保全再生モデル事業（環境省：平成16年度～平成20年度）の概要

事業概要

- (モデル地域)
4地域5地区
神奈川西部地域 / 京都北部・福井地域 / 兵庫南部地域 / 熊本南部地域
- (事業内容)
地域の里地里山保全再生の計画である「地域戦略」の策定
保全管理の実践、再生整備の実施
普及啓発・環境学習の実践

モデル事業における取組例 (地域戦略の内容)

里地里山環境への働きかけ

- ・ 希少生物の調査とモニタリング
- ・ 里山林間伐・下刈
- ・ 竹林拡大防止のための伐採管理
- ・ 獣害対策としての下刈・草刈
- ・ 薪炭・チップの有効活用
- ・ 里地・水辺の保全再生 (ビオトープ化)
- ・ 遊休農地の活用
- ・ 里地里山利用施設の整備

里地里山保全再生の体制づくり

- ・ ボランティアの組織化・登録化
- ・ フィールドリーダー等人材育成
- ・ 都市とのコーディネート体制
- ・ 活動フィールドの登録
- ・ イベントによる交流機会
- ・ エコ/グリーンツーリズムの推進
- ・ 定住促進のためのソフト施策
- ・ 多様な主体による協議会の設置

普及啓発・情報発信の推進

- ・ 保全再生活動参加、環境教育などの地域内外への呼びかけ
- ・ 地域住民に向けた普及啓発プログラムの実施
- ・ 研究機関との連携やインターネットの活用等による情報発信の拡大

成果・参考となる点

- 1) 棚田・里山などの景観や、炭焼き・笹葺き屋根などの伝統文化の保全継承を通じた里山資源の活用、里山林の維持管理 <京都・兵庫>
- 2) 企業との連携による人材や財政基盤の確保
鉄道会社との連携による里山観光化 <兵庫>
棚田保全などの基金設立、CSRとの連携 <京都>
- 3) 研究機関との連携による手法検討、効果検証
ヤマビル対策の効果検証 <秦野>
竹の有効利用(チップ化) <熊本>
- 4) 教育機関と連携した保全再生活動
大学の教育・実習活動としての管理作業実施 <京都>
小中学校の環境学習との連携 <福井>
- 5) 人と里地里山をつなぐ仕組み
活動団体・フィールドの登録制度 <京都・秦野>
(活動団体の審査、認証、登録、支援/フィールドの登録、開放)
人とフィールドを仲介する中間団体の設立 <京都>
- 6) 「京都府豊かな緑を守る条例」による重点区域の指定 <京都>
- 7) 竹林の多様な維持管理手法
3年間6月に皆伐することにより竹を壊滅 <熊本>
- 8) 人材の育成、研修制度
地域住民による希少野生生物保全指導員制度の導入による集落の意識改革 <福井>
ボランティア、フィールドリーダーの研修、登録制度 <秦野>
- 9) インターネットの活用
空家情報の提供による定住促進 <京都>
インターネットを活用したバーチャル農業体験 <京都>
- 11) 里地里山型産業の創出による地域活性化
保全活動を盛り込んだエコ/グリーンツーリズム <福井>
直販による小規模農産物販売による遊休農地の解消 <京都>
- 13) 水田のビオトープ化、湿地・水辺環境の再生 <秦野>

いくつかの課題

- 持続的な活動による地域の収益確保(産業化、財政的支援)
<京都・秦野・福井・熊本>
- 意識改革、目標像の共有のための普及広報 <京都・秦野>
- エコツーリズム等における利用のルール化 <福井・兵庫>
- 対策が求められる里地里山対象面積に対し市民・ボランティアが過小 <秦野・熊本>
- ボランティアの技術向上、指導体制、地域の人材の掘り起こし <京都・秦野・福井>
- 獣害対策・ビオトープ化の技術の確立(昔ながらの知恵や技術の掘り起こし) <秦野>
- 空家、農地の流動化のための対策 <京都>
- 希少種の生息情報の取扱と市民参加との兼ね合い <福井>